

令和7年度 第2回 蒲郡市民病院特定認定再生医療等委員会

●開催日時：令和7年8月5日（火曜日） 17時00分～18時30分

●開催場所：蒲郡市民病院ほか（TV会議方式で開催）

●出席委員：

委員会での役割	氏名	構成要件 (※1)	設置者との利害関係	委員の出欠・利益相反 (審議案件別)※2		成立要件チェック (審議案件別)※3		備考		
				議題Ⅰ	議題Ⅱ	議題Ⅰ	議題Ⅱ			
委員長	城 卓志	③	有	△	△	1 : <input checked="" type="checkbox"/>	1 : <input checked="" type="checkbox"/>			
副委員長	畠 賢一郎	②	無	△	○					
委員	本田 雅規	①	無	○	○			2 : <input checked="" type="checkbox"/>	2 : <input checked="" type="checkbox"/>	
	室原 豊明	②	無	○	○					
	脇谷 滋之	②	無	○	○					
	黒田 享	②	無	○	○	3 : <input checked="" type="checkbox"/>	3 : <input checked="" type="checkbox"/>			
	神田 佳恵	③	有	×	×					
	久保 良二	③	有	△	○	4 : <input checked="" type="checkbox"/>	4 : <input checked="" type="checkbox"/>			
	鳥山 和宏	③	有	△	×					
	飛田 護邦	③	無	○	○	5 : <input checked="" type="checkbox"/>	5 : <input checked="" type="checkbox"/>			
	紀ノ岡 正博	④	無	×	×					
	森 由紀夫	④	無	△	○					
	伊藤 経夫	④	無	○	○					
	杉島 由美子	⑤	無	○	○					
	佐藤 恵子	⑥	無	○	○					
	八代 嘉美	⑥	無	×	×					
	松木 伯元	⑦	無	△	○					
神谷 武	⑦	無	×	×						
杉森 順子	⑧	無	○	○						
金子 哲三	⑧	無	○	○						

※1：構成要件(第二種)

- ① 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家
- ② 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
- ③ 臨床医(現に診療に従事している医師又は歯科医師をいう。)
- ④ 細胞培養加工に関する識見を有する者
- ⑤ 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家
- ⑥ 生命倫理に関する識見を有する者
- ⑦ 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者
- ⑧ ①から⑦までに掲げる者以外の一般の立場の者

※2：出欠

- 出席し、かつ当該再生医療等提供計画に関与しない委員
- × 欠席した委員
- △ 出席したが、当該再生医療等提供計画に関与する等のため審議・議決に不参加の委員

※3：成立要件

委員会の審議の場で、審議案件ごとに以下の要件を満たすことを確認してチェック。

1 五名以上の委員が出席していること
2 男性及び女性の委員がそれぞれ二名以上出席していること
3 構成要件②、④、⑤又は⑥、⑧に挙げる者がそれぞれ一名以上出席していること
4 審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関(当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。)と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること
5 認定委員会開設者と利害関係を有しない委員が二名以上含まれていること

●議題

<報告案件>

I【定期報告】

再生医療等提供機関	名古屋市立大学病院	
再生医療等提供機関管理者	院長 松川 則之	
再生医療等の名称	・『白斑、改善が困難な瘢痕、難治性皮膚潰瘍に対する培養表皮移植の有効性の検討』 (第二種)【研究】	
事務局受理日	令和7年7月2日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	城委員長、畠副委員長、久保委員、鳥山委員、森委員、神谷委員、松木委員	
説明者	名古屋市立大学病院 鳥山 和宏	
技術専門員(専門領域)	秋田大学大学院 医学研究科 皮膚科・形成外科学 河野 通浩 教授	
議論の概要	●審議及び採決に参加した委員10名が定期報告の内容を確認し、審議の際に出た疑義内容については後日委員による確認をもって【継続に問題なし】とすることとした。	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	提出された報告書の内容から、審議及び採決に参加した委員10名が全員一致で継続に問題ないとした。
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

II 【定期報告、総括報告、中止届、終了届】

再生医療等提供機関	名古屋市立大学病院	
再生医療等提供機関管理者	院長 松川 則之	
再生医療等の名称	・『多血小板フィブリン(PRF:Platelet Rich Fibrin)を用いた 歯槽骨造成』 (第三種)【治療】	
事務局受理日	令和7年7月2日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	城委員長	
説明者	名古屋市立大学病院 歯科口腔外科 土屋 周平	
技術専門員(専門領域)	順天堂大学 教授 飛田 護邦	
議論の概要	○令和4年より再生医療が実施されておらず、今回定期報告とともに治療ではあるが総括報告も提出された。報告内容を審議した結果、特に問題は無いとされた。また令和7年5月には中止届及び終了届が提出・受理されている。これをもって委員会でも提供の終了を了承された。	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員14名全員一致で以下について異議は無いとした。
	結論 (適・継続審議・不適)	定期報告：【適】 総括報告：特に意見なし